

郡山市文団連 ニュース

No. 104

2025年(令和7年)10月1日発行
《発行者》
郡山市文化団体連絡協議会
〒963-0107 郡山市安積一丁目30
安積公民館安積分室内
電話(事務局長・本田)090-8784-3240
発行人 春山秀城
編集長 戸井田 楽

令和7年度「研修旅行」紀行記



去る6月27日(金)時刻に中央公民館を出発したバスは一路茨城県へと向かいました。
最初の目的地は、院展が開催されている天心記念「五浦美術館」です。(ここ地元では「いづら」と呼ばれているそうです)日本美術院再興109回院展の全国巡回の最後を飾る五浦展では、第一線で活躍する同人の作品を始め約60点の大作がずらりと並び、多くの美術愛好家の眼を楽しませておりました。私達もいづら美術館をゆつくりと鑑賞した後は日立南ドライブインへと向かい、昼食の海鮮丼に舌鼓をうち会話も弾み楽しい親睦の時間となりました。

午後一つ目の目的地は、生涯作曲数二千四百曲を超え、戦後昭和の日本歌謡史を代表する作曲家「吉田正音楽記念館」です。スター達の写真や関係資料が数多く展示される記念館の太平洋が一望できるラウンジでいただいたコーヒは格別の味がありました。

そして次に向かった今回最終の目的地、北茨城市歴史民俗資料館「野口雨情記念館」では、童謡「赤い靴」や「七つの子」民謡「磯原節」等、詩人野口雨情自筆の詩が数多く展示されておりました。入口のロータリーには男の子と女の子の銅像があり、センサーが感知すると童謡「シャボン玉」の曲が流れ両側からシャボン玉がたくさん出てきて思わず童心に返り楽しかったです。

帰路についたバスは、一部懇親会場と化し「あっ」と言う間に終点中央公民館に到着しました。

今回の研修旅行は、天候にも恵まれ文団連の皆さんと楽しく充実した一日を過ごす事ができました。今回参加出来なかった皆さんにも是非参加をお勧めしたいです。

(副会長 長尾 廣光)



事務局だより

令和7年4月26日に開催されました理事会(総会)において令和7年度の郡山市文団連役員が選出されました。事務局も今年度から新体制となりました。前事務局の高橋正好事務局長、近藤チヨ事務局次長、事務局員の菅原さんには、これまで文団連の運営にご尽力戴き誠にありがとうございました。

今後事務局は、原則として2年毎に各分野が交替で担当する事となります。令和7年度と8年度は「文学」「音楽」部門が担当いたします。

ここで改めて新事務局をご紹介いたします。写真の右から順に、◎事務局長本田剛(郡山市民オーケストラ) ◎事務局次長(広報)菊池威男(郡山市民オーケストラ) ◎事務局次長(事業)酒井裕子(琴城流大正琴振興会琴聖会) ◎事務局次長(会計)采女紀子(郡山市お母さん合唱連盟)の皆さん、分からない事が多く、これまでの事務局のように円滑に進められない場面もあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。市民文化祭も開幕し、来年1月まで、多方面で素晴らしい文化活動が展開される事と思います。どうぞお身体に気を配りながら、皆様とともに充実した文化活動を進めてまいります。

(事務局長 本田 剛)

編集雑記

この度新たに編集長を仰せつかりました。私の他の編集委員は、3人おりますが未経験者ばかりです。長尾廣光氏(副会長)・酒井なみ氏(常任理事)・本田剛氏(事務局長)で、何とか力を合わせて頑張って参りますので宜しくお願い申し上げます。

「文団連ニュース」は一昨年から年2回の発行となり、特にこの後の105号には、文化祭や邦楽の祭典や洋舞の祭典等の主催事業が目白押しで、他に郡山市長を御招きしての新春交流会があり、写真や原稿がとてもしんどく苦労の連続になります。その様な中で文化の日を中心とした各受賞者を氏名だけの扱いになるのが残念でなりません。予算縮小と編集委員の仕事を持ちながらの奮闘ぶりには頭が下がります。

(戸井田 楽)



令和7年度 郡山市文化団体連絡協議会理事会(総会)

挨拶される品川市長



佐藤政喜市議会議長



小野義明教育長

4月26日(土)午後4時からホテルハマツに於いて、各種団体約90名出席のもと令和7年度文団連総会等が開催されました。最初に「令和7年度文団連文化栄誉賞」の授与式が行われた。
◆個人の部
◎佐藤睦浩【音楽(器楽)】
◆団体の部
◎梢会【美術(洋画)】
※受賞者詳しくは2面に掲載。
令和7年度の文団連総会には高橋正好事務局長の司会で進行され、斎藤和夫副会長の開会の言葉で開始。国分重信会長が「今年度から文団連事務局が大きく変わります。2年毎に刷新する事になるので皆さんの協力をお願い致します」と挨拶。次いで高橋正好事務局長から退会団体の報告がされました。
総会議長に山本恭子(郡山おかせさん合唱連盟)さんを選出し議事に入り、近藤チヨ事務局次長により令和6年度の事業報告・収支決算報告と、橋本盛江(劇団沙羅)さんから会計監査報告があり一括承認されました。次いで「創立70周年記念事業並びに決算報告・同会計監査報告」がなされ、令和7年度事業計画・予算が満場一致で承認されました。続いて高橋正好事務局次長から新役員案が出され満場一致で承認されました。新役員紹介が有り、春山秀城新会長が「色々ありまして突然ですが再び会長をお引き受け致します」

た。一年目は新事務局体制をしっかりとさせます。二年目は現代のネット社会に合った手法を取り入れて参ります。しかしネット対応が難しい方にも合わせ、進めて参りますので会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。」と挨拶。菅野和子副会長の閉会の言葉で総会は終了致しました。
午後5時30分から懇親会に入り、高橋正好事務局長の司会、戸井田楽副会長の開会の言葉で始まりました。
26日が市長として最後の仕事としてご来賓の品川万里市長が「最後の仕事として御世話になった文団連さんで挨拶させていただきます。事は何となく思いますが、等とご挨拶、最後に「市長生活12年の思い出と将来への期待を長くさせて戴き文団連の皆様への御礼の言葉とさせて戴きます。」等とご挨拶。次に佐藤政喜郡山市議会議長が「文団連の皆様にも多くの文化芸術を市民の皆様への心に潤いを与えて戴きます様にご祈念申し上げます」等とご挨拶を戴き、次いで国分重信顧問の乾杯の音頭により懇親会が開始されました。又、ご来賓として文化スポーツ観光部の橋本徹課長が出席されました。
理事会員間の歓談が和やかに進み、山本恭子新副会長の中締め挨拶で閉会となりました。

令和7年度郡山市文団連表彰 (第42回文化栄誉賞)受賞者の皆さん

個人

◎佐藤 睦浩 (写真右)

郡山市民オーケストラ団長、
ピオラ奏者

【音楽(器楽)】

9歳よりバイオリンを故渡辺栄治氏(元郡山市民オーケストラ常任指揮者)に師事、昭和50年郡山市民オーケストラ入団以来、現在まで途中の6年間を除いて44年間在籍している。その間、団のインスペクターとして運営に関わり平成24年から団長に就任し、年2回の定期演奏会

団体

◎梢会 (写真左)

代表者 渡辺 貞行

【美術(洋画)】

当団体は、昭和45年に創設され、初心者や既に絵画制作活動を行っている者が参加し会員同士が親睦を深め、制作活動等を高め合う事を目的に活動している。毎月2回の例会を主に、モデルをお呼びし絵画制作やデッサンを行っている。また、年1回梢会展を開催し会員の力作を展示して多くの美術愛好者の鑑賞に役立っている。
このほか、市美術展や県美術展などのほか、会員の中には中央の公募展に出品するなどとして技術の向上を図り本市の美術文化の向上と美術愛好者の普及に貢献している。



第77回郡山市民文化祭開幕式

令和7年度第77回郡山市民文化祭開幕式が、7月27日(日)午後2時から中央公民館多目的ホールにて、一般市民や文団連加盟団体会員等約130名が一堂に会し開催されました。

文化祭実行委員会本田剛事務局長の司会進行で始まり、開会の言葉を山本恭子副実行委員長が行い春山秀城実行委員長が「主催行事として『郡山市民文化祭開幕式』や『こおりやま邦楽の祭典』『郡山市総合美術展』そして今年の新規事業として『こおりやま洋舞の祭典』の4主催行事、そして104団体による参加行事が開始されます。皆様



早崎保夫 教育長

の日頃の成果が実を結びますようご期待もうしあげます。」と挨拶されました。

続いて御来賓の郡山市教育委員会会の早崎保夫教育長が、「郡山市民文化祭は昭和21年に初めて開催され今年で77回を迎えます。多くの参加行事が本市の文化芸術に大いに寄与するものであり皆様のご尽力心から敬意を表します。本市では今年度からスタートした「共に学び共に育む未来を拓く教育の創造」を基本理念に挙げ郡山の教育を促進し、文化芸術活動の充実を図り「選ばれるまち郡山」を合言葉に輝く郡山を目指して参ります。文化祭の成功を心からご祈念しお祝いの言葉といたします。」とご挨拶を戴きました。

続いて「郡山市民の歌」を全員で声高らかに歌い、「開幕宣言」を戸井田榮校副実行委員長がはつらつと宣言。
ついでアトラクションでは「カルテットアミー」による弦



第77回郡山市民文化祭 開幕式

椎根市長表敬訪問

令和7年8月27日に、4月の市長選挙で当選された、椎根健雄市長を春山秀城会長・国分重信顧問・高橋正好参与・折笠光助副会長・戸井田榮校副会長・山本恭子副会長・長尾廣光副会長・本田剛事務局長の8人で表敬訪問した。郡山市からは椎根健雄市長・穴戸秀明文化スポーツ観光部長・橋本徹文化スポーツ観光部文化振興課長が出席された。

山市のご協力・ご支援をお願いしている。
会議は遠藤敦文化振興課総務管理係長の司会進行で行われ終始和やかな雰囲気の中で、春山会長や高橋参与等から、新春交流会・理事会総会等への御出席の要望・依頼等をお願いした。郡山市からは「郡山市の文化発展の為に尽力下さいます様お願い致します。」等のご意見を戴きました。最後玄関ホール迄お送り戴き恐縮致しました。

会長あいさつ



郡山市文化団体連絡協議会 会長 春山 秀城

この度、令和7年度の総会において、会長を仰せつかりました。

私は2013年から2016年まで4年間、すでに会長を経験しておりましたので、二期目の会長と云う事になりましたが、前例もないし、このような日が来るとは考えておりませんでした。

郡山市文化団体連絡協議会は県内有数の団体であり、そのジャンルは多岐に渡ります。

そのすべてを網羅する事は難しいのではないかと、今でも思っております。

しかし誰かが担わなければならぬ組織であり、流れの中で又このような機会が訪れたということは、改めて自分に与えられた使命だと考えざるを得ません。

といっても一人の人間が出来ることには限りがありますので、役員・理事・事務局の方々には、小生と共に見る目、



第77回郡山市民文化祭 開幕式

1. 新しくなったローテーション型事務局の推移に注目したい。
 2. 通信業務を従来のアナログ的手段も残しながら、
 3. 事業(会議・視察研修・記念誌・文団連会費)を見直し、事務局員の待遇を改善したい。
 4. 早い時期に、若い次期会長を選出したい。
- 何を決めるにも、会員の皆様の協力が不可欠です。よろしくお願い申し上げます。

民謡の文化を未来へ

長尾 廣光



三絃 廣光会

心のノートから

先の9月7日(日)矢吹町文化センターにおいて第64回福島県芸術祭開幕式が行われました。今年のテーマは「文化の輪伝統の光を未来へinやぶき」です。

唄祭りばやし保存会の息の合った素晴らしい演奏が開幕を彩り、続いて11団体が伝統芸能や舞踊やジャズ演奏などを発表されました。残念ながら民謡はありませんでしたが、私の所属している福島県民謡連盟が、翌週9月14日(日)に福島県芸術祭主催行事として、第39回「ふくしま民謡のつどい2025」を同じ矢吹町文化センターで開催しました。

福島県民謡連盟は、いわき・相双・県北・会津・県中県南の5支部で組織され、福島県

芸術祭重点地区の開催地の支部が主管となり毎年開催をしているところです。御蔭さまで今年も多くの民謡愛好家が集い親睦を深め盛況に終える事が出来安堵致しております。

しかしながらここ数年会員の高齢化により(ある支部では平均年齢が83歳とか)支部単独による開催が難しくなってきたりしているのも事実です。後継者を育成し未来へつないでいきたいのですが、それには時間もかかり課題もあります。

また開催には会場費や駐車場の問題もあります。数年後郡山市が重点地区になった場合、私達が誇る郡山市民文化センターでの開催は予算的に難しいかもしれません。文化都市郡山、何とかならないのでしょうか。

